

「30年」の日本、富山の変化率

- 【労働・経済】
- ・ 第二次産業の従事割合の減少率が全国と比して小さく、また、GDPでも第二次産業の増加率が全国の2倍強であり、ものづくり県の特性がみとれる。
 - ・ 2人以上勤労者世帯の可処分所得は金額及び伸びとも、全国を上回っている。
- 【交通・都市】
- ・ 車保有台数の伸びは全国を大きく上回る一方、公共交通機関の利用は全国を下回っている。また、市街地の広がりを示す人口集中地区の面積が増加しているが、人口密度は減少するなど、県内の市街地は薄く広がっている。
- 【文化】文化関係のハード整備は全国よりも進み、県民の文化鑑賞の行動者数も全国を上回っており、自ら行う文化活動の行動者数は全国と同様に増加している。
- 【国際】本県の外国人登録者数は30年前と比べると約6倍、外国人留学生は30年前と比べると20倍以上となっており、その伸びはいずれも全国を大きく上回っている。

項 目			富山県			全国			数値の対象年度
			30年前	現在	変化率	30年前	現在	変化率	
人口	人口(千人)		1,118	1,070	0.96 倍	121,048	127,083	1.05 倍	1985年/2014年
	合計特殊出生率		1.79	1.45	0.81 倍	1.76	1.42	0.81 倍	
労働	産業別人口 割合(%)	第一次産業	9.1	3.5	0.38 倍	9.3	4.0	0.43 倍	1985年/2010年
		第二次産業	39.7	33.4	0.84 倍	33.1	23.7	0.72 倍	
		第三次産業	51.1	61.2	1.20 倍	57.3	72.3	1.26 倍	
経済	GDP(兆円)		2.62	4.36	1.67 倍	275.9	500.20	1.81 倍	1982年/2012年
	うち 第一次産業		0.98	0.53	0.54 倍	8.6	5.4	0.63 倍	
	うち 第二次産業		1.09	1.38	1.27 倍	102.9	117.5	1.14 倍	
	うち 第三次産業		1.25	2.93	2.35 倍	145.0	374.4	2.58 倍	
	2人以上勤労者世帯の可処分所得(千円/月)		353	448	1.27 倍	317	393	1.24 倍	
交通・都市	マイカー世帯保有数(台)		0.97	1.7	1.76 倍	0.71	1.07	1.51 倍	1985年/2013年
	道路整備率(%)		57.7	74.8	1.30 倍	36.2	58.3	1.61 倍	
	鉄道利用者数(百万人)		39.5	25.9	0.66 倍	19,085	23,606	1.24 倍	1993年/2013年
	バス利用者数(万人)		23.2	9.4	0.41 倍	6,998	4,176	0.60 倍	
	人口集中地区の面積(km ²)		88.7	104.9	1.18 倍				1985年/2010年
	人口集中地区の人口密度(人/km ²)		4,781	3,864	0.81 倍				
文化	文化に関する人口当たり の行動者数(%)	文化鑑賞	37.9	37.9	1.00 倍	40.4	36.8	0.91 倍	1986年/2011年
		文化活動	51.8	56.1	1.08 倍	51.8	57.6	1.11 倍	
	美術館・博物館数(100万人当たり施設数)		15.2	32.2	2.12 倍	6.0	9.9	1.65 倍	1987年/2011年
国際	海外(アジア)への進出状況※1		141	541	3.84 倍	6,345	15,874	2.50 倍	2001年/2015年
	外国人登録者数(千人)		2.3	13.3	5.81 倍	867	2,122	2.45 倍	1986年/2014年
	外国人留学生(人)		22	490	22.27 倍	15,009	139,185	9.27 倍	1985年/2014年

※1 富山県の数値は進出事業所数、全国は現地法人数